

聯合艦隊ハ本日沖ノ島附近ニテ敵艦隊ヲ遠撃シ大ニ之ヲ破リ敵艦少クモ四隻ヲ撃沈シ其ノ他ニハ多大ノ損害ヲ
與ヘタリ我カ艦隊ニハ損害少シ驅逐隊水雷艇隊ハ日没ヨリ襲撃セリ聯合艦隊司令長官
同 八時五十四分 軍令部長ヨリ左記ノ電報ニ接ス乃チ蔚崎、竹濱、松島、高崎山諸望樓ニ傳ヘ機ヲ得次第各艦艇ニ
傳フヘキヲ命ス

敵驅逐艦ノ影ヲ見サルニ就テハ彼ハ今後尙戰場ニ現レ來ルコトアルヘキモノトシ警戒ヲ怠ラサルヲ得策ト認ム此
ノ旨艦隊、驅逐艦、水雷艇隊等ヘモ便宣傳ヘヨ

五月二十九日

午前十一時三十分 竹敷要港部司令官ヨリ左記ノ電報ニ接ス

一、敵ハ第三、第三艦隊ノ全部ナルカ如シ

二、撃沈「ボロザノ」アレクサンドル三世、「ヂエムチウグ」外二三隻

三、自沈「ウラヂ」モ、モノ「マイ」フ、「アドミラル」大ヒ「トモ」フ、「ドミトリ」ドンスコイ

四、捕獲「ニコライ」三世、「アリオール」、「アドミラル」セニヤ「ウキン」、「ゲネラル」アドミラル、「アブラクシン」

五、「イネムル」ト「逃走」ス其ノ他不明ナルトモ多分撃沈セラレシナラン我カ艦隊損害ナシ

長崎沖五十海里ニ敵艦ラシキ者三隻破損シタルモノ、如ク排水ヲ試ミツ、微速力航進スルヲ見タリト長崎入港ノ商船
ヨリ報告アリシ旨軍令部長ヨリ電報アリ第三艦隊之ニ向テ捕獲艦「アリオール」ハ舞鶴ヘ回航シ他ハ佐世保軍港ニ向ヘ
リ

午後八時三十分浪速、高千穂ノ入港ヲ始トシ驅逐艦、水雷艇等續々入港ス仍テ病院船、工作船、艦隊附屬港務部ヲシテ職
員負傷者ノ收容、船體兵器損所ノ修理、彈藥、炭水、糧食ノ補充等ヲ爲サシム

午後十一時聯合艦隊司令長官ノ訓令ニ基キ竹濱ニ在ル捕虜八十餘名收容ノ爲メ在蔚山水雷母艦春日丸ヲ竹濱ニ向フヘ
ク訓令ス翌三十日聯合艦隊司令長官ノ訓令ニ基キ一等假裝砲艦大仁丸、平壤丸、京城丸ヲシテ竹邊以南韓國沿岸ニ於ル

擱坐敵艦及ヒ漂流物ノ搜索運動ヲ爲サシム

兵器消耗及ヒ戦闘死傷者ニ就テハ直接本官ノ指揮下ニ行動セシ水雷母艦春日丸(同艦ノ分ハ「日」通過)ノ外ハ夫々戦闘ノ當時ニ
於ル所屬指揮官ニ提出シタルモノニシテ其ノ他ニハ一切無之候條爲念申添候也

海戰中臺中丸電信所ニ於テ取扱ヒシ電信ニ關スル事

發著電報通數 同上字數(本文ノミ)
五月二十七日 一五二通 九、〇四〇字

二十八日 二七五通 一七、七七三字

二十九日 一四四通 一四、七一六字

合計 六七二通 四一、五三九字

一日平均 二二四通 二三、八四三字

軍機電報經過時間 一、東京海軍省受附ヨリ當所受信マテ平均二十七分

第四十七號 信濃丸艦長海軍大佐成川撥ノ提出ナル假裝巡洋艦信濃丸ノ日本海海戰ニ於ル戦闘報告

天候、風候
一、五月二十七日、天候晴濼氣アリ風向西テ午前十時頃ヨリ南西トナリ風力三乃至四波浪高シ
二、五月二十八日、天候晴風向南西午前五時頃ヨリ北西十一時頃ヨリ西風ニ變シ風力三乃至四ニシテ午後ニ至リ二乃
至一ニ減ス波浪モ亦午前稍高カリシカ午後ニ至リ平穩トナル

運 動

一、別紙附圖ノ外尙信濃機密第三五號戰闘概報ニ詳記セリ

敵ノ艦船名及ヒ數

- 一、二十七日ハ敵婆羅的艦隊ニ遭遇ス其ノ數十五隻以上
- 一、二十八日ハ敵戰闘艦「シノイ、ツニリキ」及ヒ驅逐艦一隻ニ遭遇ス破壊沈没若クハ遁逃ト認メタル艦船名及ヒ時刻

一、二十八日午前六時三十七分「驅逐艦北方ニ遁逃ス午前十二時五分敵戰闘艦「シノイ、ツニリキ」ヲ捕獲ノ上曳方準備中沈没ス

捕虜將校ノ言ニ同艦ハ二十七日砲戰中前部ニ七個ノ集彈ヲ受ケ内二箇所ハ水準線ニ命中シ折柄波浪高キヲ以テ浸水甚シク依テ防水藩ヲ使用セシモ戰闘中艦ヲ停止スル能ハサルト水雷防禦網支材ノ横タハルトニ依リ該艦側ニ密著セラルヲ以テ漏水刻一刻増加シ前部防水隔壁ハ其ノ壓力ニ堪ヘス漸次後方ニ彎曲シ始メタリ依テ支柱ヲ以テ種々防禦ノ方法ヲ講セシモ更ニ其ノ效ナク午後五時頃ニ至リ遂ニ第一隔壁ハ漏水ノ爲メニ破ラレ進水直ニ直後ノ防水區割ニ充滿スルニ至レリ之ヲ爲メ艦首漸々沈下シ其ノ吃水實ニ三十八呎ニ至レリ(平常吃水二十五呎)依テ止ムヲ得ス列外ニ出テ一意排水ニ從事スルヲ傍ラ微速力ヲ以テ北上ヲ企圖シタリシカ不幸ニモ吾カ驅逐艦ノ襲撃ニ遇ヒ艦尾ニ於テ一水雷ヲ被リ爲タヒ故障ヲ推進器ニ生シ全ク進退ノ自由ヲ失ヒタリ同夜襲撃セル驅逐艦ハ四煙突ニシテ最前煙突ニ白線二條ヲ附シタル者ナリシト云フ

信號、命令及ヒ訓令

- 一、二十八日午前九時臺南ハ八幡
- 一、二十八日午前十時五分捕獲艦ニ送レ
- 一、二十八日午前十時五分捕獲員ヨリ
- 一、幾人ヲ各艦ニ送ルヤ又捕獲艦長ハ本艦ニ留メ置クヤ

答、艦長ハ何レヘナリト收容スヘシ又總人員數ハ不明ノ爲メ適宜收容スヘシ

- 一、二十八日午前十時三十五分臺南、八幡
- 一、東方準備ノ爲メ兵員八名捕獲艦ニ送レ
- 一、二十八日午前十時五十分捕獲員
- 一、曳船ノ見込カシ沈没ノ危險アリ至急兵員共ニ引取レ
- 一、二十八日午後零時四十五分臺南、八幡
- 一、救助人員揚リ次第知ラセ
- 一、二十八日午後一時三十五分旗艦嚴島
- 一、二十八日午後一時三十分松島方面ニ行カントス
- 一、二十八日午後二時五分臺南、八幡
- 一、捕虜ノ數ヲ知ラセ
- 一、二十八日午後二時五分八幡ヨリ
- 一、士官五、下士卒二百四十
- 一、臺南ヨリ
- 一、將校十一名、准士官八名、下士卒百七十七
- 一、二十八日午後二時十二分扶桑ヨリ
- 一、宜シ夜間ハ特ニ水雷ニ注意セヨ

一、二十九日午前四時五十五分臺南、八幡へ「今ヨリ佐世保ニ行ク」

一、二十九日午前十時三十五分臺南、八幡へ

「各艦隨意行動ニテ捕虜ヲ處置スヘシ三艦共佐世保回航ノ事ハ本艦ヨリ司令官へ御届濟シ。左ノ件大河内望樓ヲ經テ佐世保へ通知方便宜ナリト思フ如何カ。臺南、八幡、信濃丸、捕虜六百〇二アリ手續願ム」

汽力、汽機回轉及ヒ速力

一、汽力ハ百八十所乃至二百所(最大汽力)ヲ保チ汽機回轉數ハ八十乃至九十二之ニ對スル速力十二海里乃至十三海里半

死傷及ヒ救治ノ情況

一、本艦乗員中ニハ負傷者一名モナシ

敵艦「シンイ、ウエリキー」ニハ傷病者ヲ生シタルモ二名ノ軍醫官ハ共ニ二十七日午後三時治療室ニ命中シタル砲彈爆發ノ際瓦斯ノ爲メ呼吸困難ノ症狀ヲ發シ重態ニ陥リテ傷病者ヲ治療スルコト能ハサリシト云フ依テ二十八日同艦ヲ捕獲シタル後此等傷病者ヲ第一ニ收容シ午前九時患者ノ來著ヲ待チ直ニ診療ニ著手シ午後七時ニ至リ第一回ノ治療ヲ結了ス其ノ總數三十七名ヲ算シ内士官四名、下士卒三十三名ニシテ火傷砲創相半シ重傷十二名内死亡四名、輕傷二十名、微傷五名ナリ其ノ他溺水者四名アリシモ人工呼吸法ニヨリテ同生ス三十日午後九時重傷及ヒ輕傷患者ヲ佐世保海軍病院ニ送リ微傷者ハ殆ト治愈ニ垂ントシタルカ故ニ普通捕虜ト共ニ三十一日退艦セシム

艦内各員ノ功績

一、艦内各員ハ優勢ナル敵艦隊ニ遭遇セシ際又ハ敵艦捕獲ノ際沈著確實ニ動作シ能ク其ノ任務ヲ遂ケ一般ニ士氣ノ旺盛ナルヲ認ム

戦闘ニ依リ生シタル主機汽罐、補機及ヒ艦内各部ニ關スル情況

一、戰鬥中主機汽罐並ニ補助機械共ニ其ノ動作極テ良好ニシテ微少ナル障礙モ起ラス完全ニ其ノ效力ヲ發作シ得タ

戰鬥中ノ實驗ニ依リ將來改良ヲ要スヘキ點

一、今回本艦ニ裝備シタル無線電信ハ假裝巡洋艦中比較的感應良好ナリシ感アレトモ尙天候等極テ良好ノ時ニ於テ約八十海里以上ハ甚ダ不確實ト認ム其ノ重ナル原因ハ使用電壓ノ弱キト(本艦ノ如キハ最大六十五ボルトナリ)垂直線(垂直線ノ上端ヨリ上)位置ノ低キトニ因ルヲラント思考ス
依テ將來萬一ノ場合ニハ橋ヲ高ムルノ必要アリト認ム

戰鬥概報

五月二十七日哨戒勤務中午前二時四十五分一八六地點附近ニ於テ我カ左舷正横後約二點ニ於テ殆ト同行スル一汽艦ノ燈火ヲ認め三時五十五分ニ至リ距離漸次接近セシニ彼ノ後橋ニ(①)(②)三燈ヲ連攝スルヲ認ム時ニ吾カ該汽艦ノ東方ニ位置シ月光東天ニ懸リ西方ヲ望見スルニ困難ニシテ彼ヨリ我カ明視セラレ、不利ナルヲ見テ密ニ彼ノ西方ニ出テ船種ヲ確定セシ爲メ速力ヲ増加シ彼ノ後方ヲ廻リ左舷ニ出テ四時三十分距離漸次接近シ月光ニ照ラシテ望見スルニ三橋二煙突敵ノ假裝巡洋艦「ツネノブル」號ト同型ナリ(後ニ捕虜ノ旨ニヨレ)依テ甲板上ニアル備砲ヲ確メン爲メ急ニ接近シ四時四十分距離約三百米突ニ至リシニ備砲ナキモノ、如シ依テ或ハ病院船ナラシカト想像シタルトキ彼ノ我ヲ味方ト誤リ電氣手旗(兩手ニ白ヲ持チ吾カ受)ニテ呼入り是ニ於テ益々疑念ヲ起シ病院船唯ニ後此ノ附近ニ航スル等ナク必ス之ヲ伴フ所之有力ナル艦隊アルヘント思ヒ四圍ヲ凝視スルモ時尙黎明加フルニ濃氣濃厚ニシテ遠望ニ適セザルモ他ニ異狀ヲ認ムス將ニ艦檢ノ手續ニ著手セシトスルトキ忽ニシテ艦首ヨリ左舷ニ互リ約千五百米突以內ニ於テ十數隻ノ艦隊ト尙他ニ數隻ノ煤煙トヲ見艦位既ニ敵艦隊ノ列間ニ突入シ居ルヲ悟リ直ニ轉舵シ同時ニ無線電信ニテ敵艦隊ノ東航スルヲ報告シ尙彼ノ針路東北東ニシテ對馬海峽水道ニ向テモノナルヲ以テ此ノ旨直ニ報告シ(此ノ間數回無線電信)同時ニ艦員ヲ戰鬥配置ニ就ケ針路ヲ南微東ニ取リ彼ヲ避ケツ、動靜ヲ伺フニ依然トシテ原針路ヲ保チツ、航進セリ五時ニ

十分濃氣ノ裏ニ煤煙ヲ失フニ至ル依テ更ニ觸接ヲ保タンカ爲メ針路ヲ北五度東ニ反シ彼ニ近シク六時五分再敵艦隊視線ニ入りシヲ以テ情況ヲ觀察スルニ猶以前ノ針路ニシテ東航スルヲ確メ觸接ヲ保テツ、航進セシニ右舷艦首ヨリ四隻ノ驅逐艦列ヲ離レ我ニ向ヒテ行進シ來リタルニヨリ一度西方ニ避ケシニ彼ハ追撃ヲ中止スルヲ認め依テ尙觸接ヲ保タシカ爲メ北方ニ航行セシニ巡洋艦隊ヲシキモノヲ認め更ニ南方ニ煤煙ヲ認めシヲ以テ敵ハ後續運送船ヲシキモノヲ思考シ直ニ之ニ向フ七時四十分漸次之ニ接近シシニ米國汽船田「padre」號ニシテ船名符字「P.V.V.」ナリ尙足輕ク或ハ敵ハ密偵船ナラント疑ヒ大尉前川義一ヲ派シテ臨檢セシニ香港ヨリ門司ニ向フモノニシテ船舶書類完備シ疑フニキ點ナキヲ以テ解放セリ復敵情ニ就テ知ル所ナキヲ探リシモ得ル所ナカリキ十時三十二分臨檢ヲ終リ高速度ヲ豫定シ戰場ニ向フ

意見

敵艦隊ハ總テ燈火ヲ密閉シアルニ拘ラス病院船ニハ普通航海燈ニ特別標燈ヲ加ヘ掲揚セシメタルハ思フニ敵ノ大失策ナランカ若シ他艦ト同様凡テ燈火ヲ表出セザリシナラハ西方障區ニ於テハ暗夜ヲ加スルニ濃密ナル煤煙ノ爲メ到底彼ヲ發見スルヲ得ヌ又本艦ハ月光ヲ利用セントシ彼ノ病院船ノ左方ニ航行セシ故幸ニモ敵艦隊ヲ早ク發見スルヨリ得タルモ若シ其ノ儘彼ノ右方ニ在リテ普通通入臨檢手續ニ依リ探海燈ヲ點シ彼ヲ注視スル等ノ事ヲ為シハ我カ敵艦隊ヲ發見スルニ先タホ必敵ノ悟ル所トナリ本艦ハ擊沈セラル、ノ運命ヲ免レザリシナラン實ニ天佑ト云フノ外ナシ午後五時四十分大口灣口附近ニ於テ南下スル臺南丸ニ逢ヒ列ヲナシ爾後行動ヲ共ニシ針路ヲ北方ニ取ル八時三十分頃ヨリ沖ノ島ノ北方ニ當リ盛ニ砲火ノ閃クヲ見又屢探照燈ノ長光ヲ認め依テ敵ノ殘艦尙此ノ附近ニアルトナリ午後十一時四十分針路ヲ反轉シテ徐行ス

二十八日午前四時戰場掃蕩ノ目的ヲ以テ沖ノ島ノ北方ニ針路ヲ定メ五時十分四四五地點附近ニ於テ八幡丸ヲ認め夫テ同艦列ニ入ル航行序列信濃丸、臺南丸、八幡丸

六時左舷艦首四二七地點附近ニ於テ敵ノ戰艦一隻及ヒ二橋四煙突ノ驅逐艦一隻ヲ認め

六時三十七分驅逐艦ハ我カ隊ノ近接ニ依リ北方ニ逃走ス(八幡丸ハ一)近ツクニ從ヒ該敵艦ハ「シナイ、ウツリ、トキ」型ナ

ルヲ認め直ニ戰艦ヲ掲ケ漸次之ニ接近セシニ敵ノ戰艦ハ「ハリヤード」切斷シ橋頭ヨリ少シク下方ニ離ルヲ見ル依テ將ニ之ヲ砲撃セントスルヤ彼ト將ニ沈没セシトス信號ヲ爲シ、ヲ以テ尙事實ヲ確ムル爲メ警戒ヲ加ヘ漸次接近セシニ再救助ヲ乞フ信號ヲ爲ス吾降服セシヤト反問セシニ彼降服ノ信號ヲ掲ク依テ直ニ敵艦捕獲準備ヲナシ八時鐘舟ヲ卸シ捕獲員ヲ派遣ス

八時二十五分捕獲員敵艦ニ著シ乗艦シテ直ニ敵ノ自艦ヲ沈没セシムルノ手段ヲ防ハ曳艦準備ヲナス傍ヲ乘員收容手管ヲナス時ニ驅逐艦吹雪來リ會シ四圍ヲ警戒ス

八時三十分帝國軍艦隊ヲ敵艦ニ掲揚ス已ニシテ八幡丸ヲ離レ著シニ依リ臺南丸及ヒ八幡丸兩艦ヨリ端舟ヲ派シ乘員ヲ收容セシム爾後三艦協力シテ曳艦準備及ヒ乘員收容ニ從事ス十時五十五分艦首益々沈淪シ前甲板殆ト水面ト同一トナリ捕獲員ハ水中ニ在リテ曳方ノ準備ヲ爲ス(乘員ハ曳方ハ木村等)船體少シク右舷ニ傾斜スルヲ認め最早曳行ヲ指シテサカサ確認シ曳行準備ヲ中止シ捕獲員ニ隨艦ヲ命シ捕獲艦ニ掲クシ軍艦旗ヲ撤去ス

十時四分艦ノ右舷ニ傾斜スルト俄ニ急ニシテ忽チ艦腹ヲ現シ計一時五分前部下ニシテ全ク沈没シ乘員ハ多數ハ海上ニ漂フ是ヲ於テ漂流者ヲ三艦ニ收容ス午後十二時十分收容全ク終ル

收容人員

信濃丸 艦長外將校十四名、准士官三名、下士官百四十六名

臺南丸 將校十一名、准士官八名、下士官百七十七名

八幡丸 將校五名、下士官二百四十八名

松島附近ニ於テ第二ノ海戰アルヲ想定シ午後一時二十六分北北六度東ニ針路ヲ定メ松島ニ向フ同三時四六六地點附近ニ於テ端舟、浮流物及ヒ死屍多數浮流スルヲ認め敵艦此ノ附近ニ於テ沈没セルモノアリト認めラル

二十九日午前五時松島ノ附近ニ至リタルモ四面ノ海上ニ異狀ヲ認め依テ捕獲處置ノ爲メ一先ツ佐世保ニ向フ

收容捕虜中軍醫官一名、卒一名死去シタルニ依リ午前九時十五分北緯三十六度十四分東經百三十度二十分ノ地ニ於テ

吾カ海軍軍令ニ依リ之ヲ水葬セリ
午前十一時最早敵ニ遭遇スルノ時機ナキヲ認メ各艦ノ列ヲ解キ佐世保ニ至リ捕虜ヲ處置セシム
敵艦「シノイ、ウエリ、キ」號捕獲報告(海軍中將山田虎雄提督)
明治三十八年五月二十八日午前八時十五分敵艦捕獲ノ目的ヲ以テ本艦ヲ發ス
出發ニ臨ミ艦長ヨリ左ノ訓示ヲ受ケ

損害ノ程度ヲ調査シ沈没シ運命ニ至ラサルヲ認レ速ニ曳航準備ヲ努メ出來得レハ乗員ヲ味方艦船ニ移乗セシム
八時二十五分敵艦被刺ニ著ケ端舟長及ヒ端舟員六名ヲ艇内ニ殘シ敵艦ニ攀登ス當時敵艦ハ舷側ニ著剣番兵ヲ配シ乗員
ノ過半ハ上甲板ヲアテトテ敵意ナキモノ、如シ直ニ艇員ニ著剣セシメ艇内要所ニ配シ敵艦長ヲ捕ヘ該艦ヲ捕獲スル旨
ヲ傳ヘ八時三十分帝國軍艦旗ヲ「ガイ」ニ掲ケ士官ハ中部最上甲板ニ下士卒ハ後甲板ニ集合セシム(此ノ時敵ノ士官下士卒
一層)又前橋頭ニ懸ル敵軍艦旗ヲ降下ヲ迫リシモ「ハリヤ」切斷シ取ル能ハス答ヘタルヲ以テ更ニ我カ兵ヲシテ再
三艦ニ攀登セシメ其ノ撤去ニ努メタルトモ「ラダー」ヲク逐ニ目的ヲ達スル能ハス其ノ儘ニ放棄セ置クノ止ナキモノ
至
是ニ於テ敵艦副艦長ヲ先導トシ先ツ艇内損害ノ箇所ヲ檢スルニ致命傷ハ防水藩ヲ著ケタテ前部水雷室附近ニシテ該艦
劃ハ全ク浸水シアルトモ防水隔壁ヲ支持スルノ見込ナキニアラス更ニ艇内一般ヲ巡檢セシメ後部舵室ニ水雷ヲ受ケタ
ルモノト如キモ防水藩ヲ施シ浸水甚シカラズ其ノ他水面止ノ損害甚キモノ別ニ浸水ノ箇所ヲ認メサルヲ以テ曳航スル
ニ決シ浸水ノ情況ヲ確ムル爲メ喫水ニ注意セシメタリ
依テ直ニ敵兵ヲ指揮シテ「ハリヤ」ヲ端舟内ニ積載セシメ本艦ニ向ヒテオレトモ兩艦距離遠ク加フルニ波濤高
カレシヲ以テ端舟ハ押シ流サレ目的ヲ達スル能ハス蓋言路不通ニシテ誌氣喪失洋ル敵兵ヲ奮シテ敵艦取作業ヲ遂行ス
ルニト困難ニ屬シ進歩意ノ如クナラス依テ本艦ニ接近センコトヲ求メ更ニ捕虜收容ノ爲メ來レル臺南丸及ヒ八幡丸

端舟ヲ以テ種々ノ手段ヲ盡シ數度「ハリヤ」ノ運搬ヲ試ミタルトモ尙波浪ノ爲メ目的ヲ達セス遂ニ「ハリヤ」
シグライン」ヲ本艦ヨリ取ルニ決セリ傷者ハ先ツ敵艦「ランテ」ニテ本艦ニ移乗スルヲ許シ他ノ乗員ハ順次臺南丸、八
幡丸ノ各端舟ニテ夫々其ノ本艦ニ收容セリ十五分ニ至リ船體動搖ノ爲メ海水下甲板砲門ヨリ奔注シ前部積下降シ
始メタリ同二十五分漸ク本艦ヨリ「ハリヤ」ヲ取り得タルヲ以テ該艦ノ六時訪索「エン」ニ結止シ更ニ曳
索タル八時網索ヲ繰リ出スノ準備ヲナシタルモ十時三十分ニ至リ艦ヲ沈下急ニシテ曳航ノ見込全ク絶エタルヲ以テ十
時五十分我カ軍艦旗ヲ敵艦艇員ニ退去ヲ命シ命ニ依リ曳航作業ヲ止メ人員救助ニ努力シ敵艦長以下出來得ル限リ人
員ヲ捕獲シ十時五十七分舷側ヲ離レ急遽沈没ノ水渦ヲ避ケンカ爲メ機走シ漸ク其ノ危險界ヲ離ル、ニ至ルヤ十二時二
分該艦ハ右舷ニ傾斜シ瞬時ニシテ覆没セリ當時尙該艦後甲板ニ集合シアリシ殘員ハ皆救命浮標ヲ身ニ纏ヒ或ハ自ら海
中ニ投シ或ハ艦ノ覆没ト共ニ海中ニ落テタルモノアリシモ各艦ヨリノ救助艇ハ極力其ノ收容ニ努メ海上ニ漂流セシモ
ノ船ト總テ收容シ得タルモノト思考ス十二時四十分歸艦ス
捕獲敵艦ヲ捕獲スルヤ本艦ハ大砲或ハ破壞シ或ハ自ら尾栓ヲ取脱シグリテ一門モ使用ニ堪フルモノナシ
秘密書類、信號書、金庫、電信機其ノ他器具等ヲ押收セントシ艦橋、艦長室ノ如キ要所ヲ檢セシモ既ニ破壞放棄ノ跡ヲ存
スルノモノモ緊要物件ヲ押收シ得ザリシハ遺憾ナリトス
敵自ラ沈没ノ手段ヲ執ラザラシメカ爲メ押收セシ艦ノ平面圖ニ依リ木工ヲシテ海水身等ノ位置ヲ繪シテレトモ艦
橋見セシ止ム

敵艦捕獲機關部報告(海軍少佐藤田)

進テ機關部報告ニ部派遣人員表一部添付候也
敵艦「シノイ、ウエリ、キ」ニ著剣セタル後、指揮官ノ命ニ依リ引率セル機關部員ト共ニ帝國機關部一名ヲ先導シ
大機關部隊檢ニ著手ス此ノ時、當リ左舷機室上部「スカイライ」ヲ射撃シキ蒸氣ノ噴出スルヲ認メレトモ原因明ナ
クシテ然レトモ捕獲ナシ難キヲ以テ直ニ機ノ安全弁ヲ開キ至急消火ヲ爲スヘク該艦機關長ヲ捕シテ命セシメ第一機檢